

検証の進捗状況について

令和3年7月
厚生労働省

これまでの検証に係る進捗状況(全体)

昨年度調査で一定の成果は出ているが、各調査項目について、さらなる検証・精査が必要。

① 原爆由来の放射性物質を確認する課題

祈念館における体験記調査

【資料3-1, 3-2】

✓ 被爆地域以外の広島県及び陸続きの隣接県(鳥取県、島根県、岡山県、山口県)を対象地として9, 226件の被爆体験記^(※)について内容の確認を終了し、地図上の分布を作成。

※被爆者(手帳所持者)等の体験記

原爆投下時の気象状況等に関する
文献等調査

【資料4】

✓ 令和2年度調査として米国公文書館、トルーマン大統領図書館において、それぞれ30を超えるキーワードを用いた検索を実施及び候補文献のリスト化を完了。

気象シミュレーション
+
土壌調査
【資料5】

✓ 広島市の取組も含めた過去の知見を整理し、気象場の再現、爆発、放射性物質の拡散状況に関する情報収集の整理を行い、モデルによる再現計算のレシピを作成。

✓ 広島・長崎において、数地点で試掘・土壌採取を実施し、原爆由来降下物の有無及び放射能の測定・分析

② 健康影響が生じているか確認する課題

広島赤十字・原爆病院における
カルテ調査

【第3回資料: 資料5】

✓ 広島赤十字・原爆病院にあるカルテ^(※)について、雨に曝露した記載がある入市被爆者とそれ以外の入市被爆者との間で、被爆直後の症状や被爆40年以降の疾病状況の比較を実施したが、健康状況の違いは報告されなかった。

※同院のカルテは被爆者(手帳所持者)に限られることに留意

相談支援事業受診者の疾患罹患状況
の統計解析、アンケート調査

✓ 広島原爆黒い雨体験者相談支援事業の利用者等を対象とした疾患罹患状況調査の実施主体の公募を行った。

令和3年度の検証の方向性(案)

現在までの検証状況を踏まえ、今後も引き続き、以下の視点で検証を進めてはどうか。

① 原爆由来の放射性物質を確認する課題

祈念館における体験記調査

- 本調査は、一度終了として、①に関する他の調査結果と併せて気象・土壌WGにおいて、検証してはどうか。

原爆投下時の気象状況等に関する文献等調査

- 米国内の他の情報源(米国地質学調査所図書館、医学図書館等)からも候補文献を追加した上で、米国公文書館等が開館後、直ちに現地調査を実施し、実際の文献入手・翻訳等を行う。
- その結果を含め、①に関する他の調査結果と併せて気象・土壌WGにおいて、検証してはどうか。

気象シミュレーション+土壌調査

- 昨年度作成したレシピに基づき試験的な気象シミュレーションを実施しつつ、改めて必要なデータや知見などを精査しながら、最終的な放射性降下物の分布推定シミュレーションにつなげる。
- 土壌の新規採取地点を大幅に増やしつつ、これまでに集められた試料の解析・アーカイブ化も進め、原爆由来降下物の分離同定法の改善を図りながら調査を進めていく。
- ①に関する他の調査結果も含め、①に関する他の調査結果と併せて気象・土壌WGにおいて、検証してはどうか。

② 健康影響が生じているか確認する課題

広島赤十字・原爆病院におけるカルテ調査

- 本調査は、一度終了として、健康影響WGにおいて、検証してはどうか。

相談支援事業受診者の疾患罹患状況の統計解析、アンケート調査

- 選定された調査実施主体において、これまで検討会において出された意見も踏まえて受診者等に対する疾患罹患状況調査を実施する。